

高退協ニュース

高退協定期総会を開く

新役員に田所昌澄、原淳、杉村多津さん 事務局長には古味忠男さん

定期総会は4月28日、高知城ホールで37名が参加して行われました。

議長に梅原憲作さんを選出し、昨年度亡くなった6名の方がたのご冥福を祈って黙祷、岡崎会長のあいさつにつづいて西森稔県退協会長、橋元陽一高教組委員長、長メッセージをうけたあと、事務局から提案された議案が原案通り承認され、役員が選出されました。

審議では、新設の統合病院への民間資本の導入（PFI）にともなう危惧、高退協による母親運動への支援や幡多地区での行事の開催、また廃校舎を利用した地域文化の振興、まだ残る歪められた同和行政、子どもを守る県条例の制定などへの協力の要請が行われました。

役員選出では窪田一郎、

塩田能子さんが退任し、代って表記の3氏が選出されました。今年度の役員は次の通りです。

- 会長 岡崎清恵
- 副会長 中岡鉄夫
- 事務局 南千加良
- 常任委員 古味忠男
- 坂本敬子
- 林 応子
- 山脇正照
- 西込 曠
- 中川正路
- 西田令子
- 上岡 積
- 三谷隆彦
- 田所昌澄
- 原 淳
- 杉村多津
- 横川哲郎
- 森 敏之
- 坂田昌俊
- 顧問 竹島寛之
- 役員選考委員 加藤 菊
- 窪田充治

退任あいさつ

窪田一郎

退職した年から八年間、事務局員を勤めました。退任させて頂くことになりました。充分なことが出来ず、忸怩たる思いがあります。が、充実した八年でした。今年、新役員もスムーズにきまり、フレッシュな体制が整いました。今後も出来る限りお手伝いをと、また、行事にもつとめて参加したいと思えます。会員の皆さん、八年間どうもお世話になりました。

塩田能子

春四月、入学・卒業・入社・退職と桜と共に移り変わるこの時期、私も、高退協事務局役員を退くこととなりました。

3年間、あまり積極的に取り組むことができず、事務局の皆様には御迷惑をおかけし、申し訳なく思っています。

新任あいさつ

杉村多津

思い起してみれば安芸高校の生徒であったとき勤評闘争から始まり、教職についてからは学テ闘争の終り頃でした。臨時教員三年の間も分会には必ず参加させてもらい、尊敬する先生方の話を一言も聞き逃すまいと学習させて、つたことがとても新鮮で、血となり肉となったような気がします。採用になったとき組合に

入っていたときでも感激でした。組合員歴三十七年、組合員として恥ずかしくないように子どもに分かる授業をとの思いで過ごしてきました。組合があつたから、仲間がいたから四十年の教員生活を全うさせていただけたと感謝しております。今後は仲間の一員とさせていただきます。先輩の方たちの御指導を得て、皆さんと御一緒に張りのある生活をめざしたいと思っております。

田所昌澄

退職して早くも一年が経ちましたが、四十年近く住み慣れた宿毛を離れての城下町での暮らしにも少しは慣れてきました。退職後も孤立することのないように生活に潤いを求めて高退協に加入しましたが、このたび任務分担の内容も分からないままに事務局のお手伝いをさせてもらうことになりました。甚だ心細いことですが、事務局の足を引っ張らないようにして、高退協の発展に少しでも寄与できればと思っております。よろしくお願い致します。

原 淳

21世紀の初年度を迎え、私たちの暮らしと生活、平和と民主主義にとって、大きな節目の年となっております。

こうした節目の年に、高退協の役員になることに對して身の引き締まる思いです。いま、高齢者にとって生活、医療等々大変な状況になっていきます。また、私たちの子や孫の教育にとっても人権と民主主義を巡る状況は憂慮すべき方向に進もうとしています。これを少しでも良くしていくため、これから私たち高齢者が立ち上がるのが大切ではないでしょうか。

役員として微力ではありますが皆様の運動の一助になればと思えます。よろしくお願ひします。

草声老語

早春の花から初夏の新緑、身も心もフレッシュとまではいかないにしても、現状維持を勧められる。生命の息吹を植物が感じさせてくれる季節である。

朝倉から荒倉トンネルを抜けると、道路全くの様変わり、右手山崩れの工事、大外科手術の痕のよう痛々しい。

だがこの山、部分的ながら、桜から新緑にかけてハッとするような美しさを感ぜるところだ。

高知市では里山保全がようやく行政の課題に。全国的にも大きな課題だろう。今、全国とりわけ西日本で、竹林の里山蚕食が問題化。高知でも、里山保全の観点から竹林問題研究会が発足、高退協メンバー数名参加している。

その気で高知市周辺の山を見ると、植林・雑木林とも竹林化しつつあるところ。すぐに目にはいる。

さて、四月二日「高知県の農業と食糧を守る県民学習・討論集会」という画期的な集会があった。そこでは、日本の一次産業保護育成への政策転換と、従事者の努力、それと伝統的な食文化や環境保全まで話題になった。

里山保全そのものには言及なかったが時間あれば当然触れられたであろう。翌日の高知、この催し全く無視、けしからん話だ。ところで、今世紀、走りへに走った二十世紀の反省と補修の世紀とも言えよう。日本のあり方を見つめる世紀と位置づけると、私たちがまたまた役割が残っていないだろうか。

技術革新など新しい事態への対応は大切だが、帰も含めて社会システムの再構築が必要が気がする。環境・飢饉・紛争・核、グローバルな課題も気になつてならない。解決への果敢な挑戦が始まることを念じてやまない。(一)

高知高退協事務局
2001・5-15
No 110

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸ノ内2丁目11-10
教育会館内高教組気付
TEL 088182216822
0165012111893

養東寺殘日録

坪井 幹之

教育へぼ談義

参議選が近い。最大の争点は自・公・保の悪政続行を許すかどうかであろう。政策では景気を中心とした経済問題に關心が高いが、これは難題でよくわからない。なんとか意見めいたものとなると教育の話になる。いまや教育基本法をつき崩そうとする動きが強まっている。民主教育の危機であるが、ここでは学校教育にしばって私見を書く。学校教育では何をどう教えるかが中心課題であるが、来年度からの教育課程改定は大きな問題をはらんでいる。その批判はさておき、今回は小学校段階で何を教えるかについてしぼって持論を開陳する。

結論は「よみ、かき、そろばん」に徹せよ、である。守旧派的発想に聞こえるかもしれないが、小学校では国語と算数の二科目に十分時間をかけるべきである。それこそ

「5・3憲法集会」

参加三百人を越す

「輝け！日本国憲法、54周年 県民のつどい」が五月三日、RKCホールで開催。三百人を越える参加を得て盛大な集会となりました。高退協からは、24名参加しました。

開会の挨拶で栗原代表委員は、小泉首相や山崎自民党幹事長の改憲発言にふれ、その危険な動きに対して、憲法改悪を阻止しようとして訴えました。続いて山原前衆議院議員は、新内閣のもとの異常な情勢のなか、憲法を守るために闘い抜くという力強くその決意を述べました。

訃報

池本文雄先生が78歳で逝去、3月24日葬儀
 福富恒彦先生が75歳で逝去、4月14日葬儀
 〓冥福をお祈りします

「ゆとりのある学習」で子供たち全員に自国語と計算の基本的素養を身につけさせることが初等教育の目標である。考える力は言葉と記号に依拠しているのであるから、人間として生きていくためには子供のときに国語と数学の基礎的な力をしっかり身につけさせることが大切である。

では社会や理科はどうするかが問題になるが、私見では独立した教科で教える必要はないと思う。これらの領域の知識は国語と数学の教材の一部として取り扱えばよい。社会科学と自然科学の初歩はいろいろな物語やクイズとして国・数の教科書やパソコンで教材化できると思うがどうであろうか。むしろその方が子供たちの興味と関心を呼び起こすだろう。それらの教科の系統的学習は中学校段階で始めればよい。小学校ではその動機づけだけで充分である。小学校段階での外国語教育についても意見があるが、紙数が尽きたので次回に譲る。

私の健康法



「発酵米ヌカ」の作り方

中岡鉄夫

肥満に便秘によく効き、味も抜群！米ヌカは、無農薬か低農薬の米ヌカを選びます。乾燥コウジは、スパーなどの食品売場で購入できます。米ヌカも乾燥コウジも、湿気を嫌いますから、購入したらできるだけ早く作ります。

「作り方」 フライパンに米ヌカを入れ、弱火で空いりする。部分的に焦げ目がつくまで煎ったら、十分に冷ます。乾燥コウジは、粉末にする。ミキサーかコ

預金が危ない
 来年四月から「ペイオフ」が始まる。場合によっては、銀行預金がパーになる、と聞いて自己防衛を考えねばと、金融の専門家に説明を受けた。その話によると、来年四月以降に、万一預け入れの銀行が破綻した場合は預金全額が補償されなくなる。来年度は経過措置として、定期預金の一千万円と普通預金全額が補償されるが、次の年度からは補償されるのは合算で一千万円となる。最悪の場合は残額はすべてパーになるかも知れない。

ただし、この措置は「ひとつの金融機関で一人の預金者について」である。ひとつの金融機関とは、本店も支店も含めてひとつと勘定される。だから唯一の防衛策は、金融機関と預金者の分散である。この悪逆無道の政策の背景には勿論、大銀行とゼネコンによる「不良債権」がある。これを支援してきたのは誰か。資本主義の腐蝕は深刻である。

「発酵米ヌカのとおり方」
 一日一回、小さじ二〜三杯をそのまま食べる、または、水やお湯、お茶などで飲む。朝の排便を期待するならば夕食時にとるとよい。

「効能」 米ヌカは発酵させることで、抗酸化作用が強まったり、栄養分が体へ吸収されやすくなったります。



県中央メーデーに二千名

高退協も11名参加

第72回メーデー高知県中央集会は、五月一日午前九時半から、高知市の中央公園で開催されました。色とりどりの旗やプラカードを持った労働者や市民、千人以上が参加して盛大に催されました。

高橋県労連委員長の基調報告を皮切りに、栗原県革新代表、春名代議士等のメッセージの後、県労組、ミロク労組等から決意表明が続き、メーデースローガン、メーデー宣言等が満場の拍手のなかに承認され、石元県教組委員長の閉会宣言で議事を終了。直ちにデモ行進に移り、中央公園から商店街、電車通り商店街を通り中央公園へとデモ。シュプレヒコールで商店街や道行く人々に今日の課題を訴えました。

会員の消息



徳弘博男先生は昨年11月くも膜下出血で入院治療されたが今は全快されている

お祝いほか
 島内一夫先生の「高知ベッククラブ賞受賞と出版記念祝賀会」が城西館で3月18日開催され高退協会員が多数参加

成岡和陽先生が卓球普及の功績により県体育協会功労賞を受ける
 門田豊先生の追悼遺稿集 出版7月15日
 岡崎清恵先生が「ピースウエーブ運動」実行委員長に就任